

第 164 回 第一次世界大戦後のインド・東南アジア

1 インドの独立運動

- ・イギリスは、インドが第一次大戦に協力するかわりに（ ）を約束していた。
- ・イギリスは、1919年（ ）を制定したが自治とは遠い内容だった。

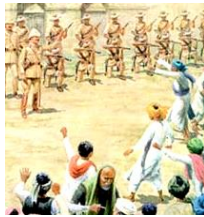
- ・イギリスは、1919年に（ ）を制定し、インド人を令状なしに逮捕することを認めた。

→1919年、ローラット法に抗議して開かれた集会にイギリス軍が発砲し、多数の死傷者を出す（ ）が起こった。



イギリス軍のインド兵

自転車に乗るインド兵。外見からするとおそらくシク教徒だろう。100万人以上のインド人がイギリス軍に加わっており、多くの戦死者を出した。



アムリットサル事件

パンジャブ地方のアムリットサルはシク教の聖地でもある。イギリス人が率いるインド軍は、抗議集会を行う民衆に対して無差別に発砲した。1500人以上が死傷した。



タゴール

インドの詩人、思想家で、アジア人初のノーベル賞受賞者。当時のインドで大きな影響力を持っていた。インドとバングラデシュの国歌を作詞作曲したのも彼である。



ガンディー

『目には目を』では世界が盲目になるだけだ。弱い者ほど相手を許すことができない。許すということは、強さの証なのだ。」

- ・国民会議派の指導者である（ ）は、（ ）を説き、イギリスへの抵抗運動をはじめた。

→ヒラーファト運動を行っていたイスラーム教徒も当初は協力した。

- ・インド問題を調査するために、イギリスは憲政改革調査委員会を派遣した。

- ・1929年、（ ）を中心とする国民会議派の急進派は、パンジャブ地方のラホールで行われた大会で（ ）を決議した。

- ・1930年、ガンディーは（ ）を行い独立運動は頂点に達した。

→イギリスは、（ ）をロンドンで開き、独立運動を抑えようとしたが合意できなかった。



ネルーとガンディー

考え方に若干の違いはあったが(ネルーの方が急進的)、最後まで関係は良好だった。なおネルーの子や孫も、後にインドの首相となった。



糸車を回すガンディー

ガンディーは、インド伝統の綿織物を復活させることで、イギリスへの抵抗を行った。糸車は抵抗運動の象徴となった。



塩の行進

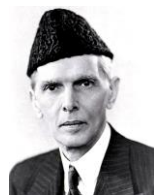
塩はイギリスによって専売されており、貧しい人々の生活を圧迫していた。ガンディーは海岸までの380キロを歩き、海水を煮て塩を作った。

- ・1935年、イギリスは（ ）を制定しある程度の自治を認めたが、完全独立にはほど遠かった。

→同法に基づき1937年に州議会選挙が行われ、国民会議派が勝利した。

- ・宗教対立も深刻化し、ムスリムは反国民会議・親英路線となっていた。

→（ ）の指導者（ ）は、イスラーム教徒による独自の国家建設を目指すようになった。



ジンナー

インドのムスリムによる独自国家の建設は、後にパキスタンとして実現した。

2 東南アジアの独立運動

- ・第一次世界大戦後、東南アジアでも独立を目指す民族運動がひろがっていった。
→しかし独立に成功する国はなかった（独立を維持しているタイを除く）。
- ・この状況の中で、第二次世界大戦では（ ）の侵攻を迎えることとなる。

<ビルマ（ミャンマー）>

- ・1920年代から、僧侶のサヤ=サンなどの指導者が民族運動を行っていた。
- ・（ ）領インド帝国に併合されていたビルマは、1937年のビルマ統治法によってインドから分離された。
- ・1930年代半ばには、（ ）が完全独立を要求して活動した。
→その後（ ）が指導者となり、独立運動を指導した。



アウンサン
名前からわかるとおり、あの人の父である。後に非業の死をとげた。

<インドネシア>

- ・（ ）領のインドネシアでは、（ ）を中心とする運動により、独立を求める動きが活発化していた。
- ・1920年、（ ）が結成されたが弾圧を受けた。
- ・1927年、（ ）によって（ ）が結成され、ムルデカ運動（愛国運動）という独立運動を行った。



スカルノ
インドネシアの独立運動の指導者。デヴィ夫人の夫である。

<ベトナム>

- ・（ ）領インドシナのベトナムでも、1920年代から独立運動が盛んになったが、激しい弾圧を受けた。
- ・ロシア革命の影響を受けた（ ）は、1925年にベトナム青年革命同志会を結成した。
→1930年、ベトナム共産党を結成し、すぐ（ ）と改称して独立運動を行った。



ホーチミン
グエン=アイ=クオクと名乗っていたフランス留学時代の写真。清廉な人柄で知られる。

<タイ>

- ・タイは、（ ）のもとで独立を維持していた。
- ・1932年、人民党が（ ）を起こし立憲君主制となった。
- ・1939年、国名をシヤムから（ ）へ変更した。



ピブン
タイの首相として政治の実権をにぎった。

<フィリピン>

- ・フィリピンは、米西戦争の結果、（ ）領となっていた。
- ・世界恐慌後の1934年、フィリピン独立法で10年後の独立を約束された。
→1935年、（ ）が発足した。